

第2次南房総市総合計画 後期基本計画（各論）進捗管理表（令和6年度事業分）

章		指標数	☆目標達成	○目標を概ね達成	△目標に届かず	－実績数値なし
第1章	優しく安心して暮らせる南房総 保健・医療・福祉	9	2	3	4	0
第2章	活力ある地域産業の南房総 産業・雇用	10	2	3	3	2
第3章	豊かな学びと文化の南房総 教育・文化・スポーツ	6	0	3	3	0
第4章	安全で快適な南房総 生活・自然	7	3	1	3	0
第5章	地域がつながる便利な南房総 道路・交通	2	2	0	0	0
第6章	市民が創る南房総 移住促進・市民参加・行財政	5	2	1	1	1
	計	39	11	11	14	3

（ 参考：R5 6 13 18 2 ）

第1章 優しく安心して暮らせる南房総（保健・医療・福祉）

施策	指標	令和6年度 取組内容	当初値 (2021)	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	目標値 (2027)	進捗状況	課題等	今後の 方向性	担当課
1-1 保健・医療体制の充実	健康寿命の延伸	<ul style="list-style-type: none"> 総合検診、特定保健指導の実施 各種がん検診の実施 健康教育・健康相談 健康ポイント事業の実施 高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施 	男 77.9歳 女 82.9歳	男 79.3歳 女 83.3歳	男 79.4歳 女 84.2歳	男 78.3歳 女 82.9歳	☆目標を達成	<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康づくりへの意識の醸成 検診受診率の向上 健診未受診者等、健康状態不明者への対策 	継続	健康推進課
	1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査の未受診児の状況把握率	1歳6か月児健診の未受診者状況把握率は100%、3歳児健診の未受診者状況把握率は100%だった。	100%	100%	100%	100%	☆目標を達成	幼児健診の受診率が100%ではないので受診率向上を図り、未受診者を減らし、未受診者は現認していく。	継続	子ども教育課
1-2 高齢者福祉の充実	65歳以上に占める要介護（要支援）認定率	介護予防に繋がるよう、リエイブルメント事業のモデル実施に取り組むことができた。 また、年間約120回の審査会により、3,000件程度の認定を実施。速やかな認定を進めることができた。	20.3%	20.5%	20.9%	22.0%	△目標に届かず	リエイブルメント事業を開始し、参加する高齢者の増加を図る。同時に運動機能向上・栄養改善等の介護予防に繋がる取組が必要。また、高齢化進行に伴う要介護認定者の増加に対応するため、認定環境の整備と在宅福祉サービスの基盤整備が課題。	継続	高齢者支援課
	お達者サロンの参加者数（延べ）	定期的なサロンの開催。 健康推進課、社会福祉協議会と連携し、健康づくり・介護予防に関する体操、講話を行った。	1,426人	3,304人	3,517人	8,500人	△目標に届かず	コロナ禍により減少した参加者数が徐々に戻っているが、コロナ前と比較するとサロン開催が大幅に減少している。 交通手段がなく来所困難な方への対応、担い手の不足が課題。	継続	高齢者支援課
	お達者サロンの設置数		22箇所	20箇所	20箇所	25箇所	△目標に届かず	担い手の高齢化により、後進の育成が課題。 既存のサロンの存続のため支援が必要。	継続	高齢者支援課
	認知症カフェの設置数	定期的なカフェの開催。 既存のカフェへの支援、通いの場確保を目的に、令和7年度からの補助金の見直しを行った。	2箇所	2箇所	2箇所	5箇所	△目標に届かず	担い手の高齢化により、後進の育成が課題。 既存のカフェ存続のため支援が必要。既存のカフェは、外房地区のため、内房地区への拡充が課題。	継続	高齢者支援課
1-3 障害者福祉の充実	グループホームの利用者数	共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行った。	110人	133人	145人	120人	○目標を概ね達成	障害者が重度化・高齢化する中、地域での生活をできる限り継続できるよう重度障害者の受入体制の整備が課題になっている。	継続	社会福祉課
	就労移行支援事業利用者数	一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行った。	11人	8人	8人	15人	○目標を概ね達成	雇入れ支援のみならず、長期にわたる職場定着支援をどう行っているかが課題になっている。	継続	社会福祉課
1-4 地域福祉の充実	避難行動要支援者名簿を活用した団体数	行政区に加入していない別荘地について、協定を締結した。	128団体	128団体	129団体	130団体	○目標を概ね達成	無し	継続	社会福祉課

第2章 活力ある地域産業の南房総（産業・雇用）

施策	指標	令和6年度 取組内容	当初値 (2021)	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	目標値 (2027)	進捗状況	課題等	今後の 方向性	担当課
2-1 農林業の 振興	認定農業者の平均所得	県や農協等関係機関と協力連携し、栽培技術の向上やコスト削減の指導、補助事業の周知等を行った。	2,406千円	—	—	5,500千円	—	異常気象や地域紛争、貿易規制を起因とした収量の減少や物価高騰による資材、飼料等の購入費用の増加及び省力化に向けた取り組みが課題となっている。 【令和6年度実績値・進捗状況】 認定農業者は、5年毎の更新となり、現状値（2021）と目標値（2027）の間の年度実績に繋がりはないため、実績不明とした。又目標値（2027）時点においても目標値を達成できたか市では把握できない。	継続	農林水産課
	新規就農者数	農業者の確保と育成のため、研修者や研修機関への支援を行った。	11人	12人	17人	14人	☆目標を達成	補助金交付終了後の生活費確保、新規就農者の離農抑制が課題。	継続	地域資源再生課
	農業産出額	産地生産基盤パワーアップ事業や「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業等の国・県及び市の補助事業を活用した。	100億円	102億円	103億円	100億円	○目標を概ね達成	農業者の高齢化と減少が進む中、持続的発展のため、後継者や新規就農者等の人材育成が課題となっている。農地が中山間地域のため、大規模化や集約化が課題となっている。	継続	農林水産課
	有害鳥獣による被害金額	広域的な防護柵の設置、狩猟免許取得支援や捕獲従事者の育成	12,142千円	19,945千円	14,734千円	10,000千円	△目標に届かず	捕獲従事者は高齢化しており、今後、捕獲業務に支障が出ると予想される。	継続	農林水産課
2-2 水産業の 振興	水産物水揚げ金額	稚貝稚魚の放流、収益向上型輪採漁場整備促進、藻場再生・回復活動の促進	17億円	22億円	21億円	15億円	○目標を概ね達成	漁業就業者の後継者不足により、アワビの輪採漁場の維持に苦慮することが予想される。	継続	農林水産課
	新規漁業就業者数	漁業研修生として、地域おこし協力隊を募集したが、応募がなかった。	6人	2人	0人	6人	△目標に届かず	漁業者の後継者不足が深刻で漁業協同組合自体の経営地盤が傾くことが予想される。	継続	農林水産課
2-3 観光の振興	温泉宿泊客数	南房総市観光大使とコラボしたホームページ作成やイベント開催により集客を図った。他地域の温泉地並びに観光協会と共に宿フェスに共同出展し、南房総温泉をPRした。	27.2万人 (2018)	36.0万人	37.4万人	34.0万人	○目標を概ね達成	物価高などにより配湯事業委託費が増加傾向にある。引き続き配湯料金の見直しを検討し、運営体制の強化を図る。	継続	観光プロモーション課
2-4 商工業の 振興	高校生地元企業就職率	ハローワークや各高校の進路担当と連携をとり地元企業への就職を促すよう依頼した。	35%	35.9%	47.0%	40%	☆目標を達成	少子化による就職者が減少することが課題である。	継続	商工課
	市内製造品出荷額等	商工会等関係団体と連携を取り、各種補助金等を周知した。	13,032百万円	—	—	13,032百万円	—	少子高齢化により市内製造業の事業縮小や廃業等で出荷額が減る傾向があること。	継続	商工課
2-5 新たな産 業の振興	新たな仕事と雇用創出支援事業補助金活用による創業者数（累計）	令和6年度より事業名変更がなされる事業者支援事業補助金市内で新規事業及び起業、市内進出する企業に対して、事業に係る経費の一部を支援した。	36人	45人	48人	56人	△目標に届かず	今後、制度の仕組みをよく理解してもらい、より多くの方に利用を促すため、広報を強化する。	継続	商工課

第3章 豊かな学びと文化の南房総（教育・文化・スポーツ）

施策	指標	令和6年度 取組内容	当初値 (2021)	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	目標値 (2027)	進捗状況	課題等	今後の 方向性	担当課
3-1 教育内容 の充実	学校外教育サービス利用者率	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度から所得階層別の区分を撤廃し、小学校5年生～中学校3年生の児童生徒の保護者で南房総市に居住し、かつ、南房総市の基本住民台帳に登録されている者を助成券交付の対象とした。 助成券を利用できる学習塾等を21教室追加し、助成券利用機会の拡大に取り組んだ。 	86.3% (71.5%から修正)	75%	78%	85% (75%から修正)	△目標に届かず	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度と比較すると、中学生の利用率は10%増加したものの、依然として中学生が通う学習塾等の参画事業者への登録が少ないことが課題であると考えられる。助成券を利用できる参画事業者を増やすため、市内外の学習塾やスポーツ教室の事業者へも広く周知及び事業への参画を交渉していく必要がある。 利用率増加による事務負担に対応できるようにする必要がある。 	継続	子ども教育課
3-2 子育て支 援の充実	子育てしやすいまちだと思 割合	<ul style="list-style-type: none"> 国の制度の活用やライフスタイルの変化に合わせ、多様な働き方を支援し、家族との時間を大切に、仕事と育児を両立できる環境づくりを促進するため、令和6年4月分から保育料を引き下げる取り組みをした。また、「第3期南房総市子ども・子育て支援事業計画」を策定した。 	53%	55.4%	55.4%	70%	△目標に届かず	<ul style="list-style-type: none"> 子ども子育て支援事業計画を見直すために行った令和5年度の「南房総市子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果」にある、満足度に関しての質問結果を実績値として計上した。令和6年4月から短時間保育の無料化、旧南三原小学校の跡地を活用して建てられた公園もオープンした。各事業の様々な取り組みは行われているので、内容に関して、今後、市内外に周知をしていく必要がある。 	継続	子ども教育課
3-3 学校教育 施設の整 備充実	小・中学校の照明LED化改修 率	計画的な大規模改修や学校再編について検討・協議を進めながら照明LED化に取り組んでいる。	小学校 54.6% 中学校 55.8%	小学校 54.6% 中学校 55.8%	小学校 54.6% 中学校 57.1%	小学校 100% 中学校 100%	○目標を概ね 達成	学校再編の検討状況を確認しながら施設環境を整える必要がある。	継続	学校再編整備課
3-4 生涯学習 の推進	公民館定期利用サークル数 (文化協会加入サークル含 む)	市全体及び各支部全ての文化祭を実施できた。会員の高齢化により会員数の減少はあるが、既存サークル、会員の相違工夫により市民活動の継続性が保たれている。また、公民館講座から新たなサークルも結成された。	236団体	228団体	225団体	236団体	○目標を概ね 達成	個々として同じ興味、関心、目的を持った住民の方々が集う機会はあるが、サークル化を前提とした場合、組織へのハードルがある。また、既存会員が年々高齢化していくことや、新規会員から見てレベル・習熟度の差が障壁となり、既存サークルへの入会を躊躇う傾向がある。	継続	生涯学習課
3-5 文化振興 と地域文 化の継承	文化財保護団体等数	市内の文化財保護団体の活動に対し補助金の支給や、相談を行い団体が活動継続できるよう支援した。	12団体	12団体	12団体	12団体	○目標を概ね 達成	文化財保護団体の活動母体である市内各地域の少子高齢化により、団体の活動自体が困難になりつつある。	継続	生涯学習課
3-6 スポー ツ・レク リエー ション活 動の推 進	スポーツ施設の利用者数	スポーツ協会やスポーツ少年団、各種スポーツ大会の活動費を支援しスポーツ・レクリエーション活動の推進を図った。また、スポーツ施設の適正な維持管理、環境整備に努めた。	130,881人	175,204人	142,225人	200,000人	△目標に届かず	少子・高齢化により、スポーツ少年団、スポーツ協会の活動が困難になりつつある。	継続	生涯学習課

第4章 安全で快適な南房総（生活・自然）

施策	指標	令和6年度 取組内容	当初値 (2021)	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	目標値 (2027)	進捗状況	課題等	今後の 方向性	担当課
4-1 交通安全・防犯 対策の推 進	交通事故発生件数	交通安全に関する広報、啓発を実施。また、交通指導員による指導等を実施。	92件	45件	53件	76件	☆目標を達成	市民一人ひとりの交通安全に対する意識を高揚させることが必要である。	継続	消防防災課
4-2 防災・消 防・救急 対策の充 実	自主防災組織による避難訓練実施地区数	行政連絡協議会開催時に自主防災組織の補助金説明を行い、自主防災組織に関する意識の高揚を図った。	69地区	62地区	99地区	117地区	△目標に届かず	各行政区（自主防災組織）に共助の必要性を説明するとともに、雨天による訓練中止の場合の代替え案	継続	消防防災課
4-3 自然環境 の保全と 共生	1人1日当たりのごみ排出量	生ごみ処理機購入補助やごみの出し方の啓発を通してごみ減量化を図った。	1,105g /人・日	1,113g /人・日	1,141g /人・日	1,078g /人・日	△目標に届かず	R6現在1,141g/人・日であり、ごみ分別による資源化等が更に必要である。	継続	環境保全課
4-4 土地利 用・景観 整備	国土調査の実施状況 (国土調査済面積)	千倉町北朝夷及び千倉町南朝夷の各一部地区の一筆地調査を実施	106.47km ²	0.23km ²	0.91km ²	108.47km ²	☆目標を達成	相続登記がされていない土地が多く、相続関係人を追跡しても相続放棄している場合があり、調査に支障をきたしている。	継続	建設課
4-5 住環境の 整備	新築住宅取得者に対する支援 件数（5年間累計）	一定の要件を満たす新築住宅取得者に対し、奨励金を交付	134件	13件	29件	140件	☆目標を達成	安房郡市外からの転入者に対する奨励金の交付が減少傾向である。	継続	建設課
4-6 上水道の 整備	既設石綿セメント管の改修率 (市内の上水道に使用されている石綿セメント管の改修率)	配給水施設耐震化事業にて3路線、約0.8kmの石綿セメント管の更新を実施。	57.8%	60.79%	62.64%	75.6%	○目標を概ね達成	市内の上水道施設全般で老朽化が進んでおり、石綿セメント管以外の更新需要も高まる中、資材、人件費等の高騰により更新費用も増大しており、財源の確保、更新の優先度が課題となる。	継続	水道局
4-7 廃棄物対 策の推 進	汚水処理人口普及率	合併処理浄化槽転換補助により汚水処理を推進した。	48.40%	50.25%	53.23%	60.07%	△目標に届かず	R6現在53.23%であり、今後も合併処理浄化槽への転換を推進する必要がある。	継続	環境保全課

第5章 地域がつながる便利な南房総（道路・交通）

施策	指標	令和6年度 取組内容	当初値 (2021)	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	目標値 (2027)	進捗状況	課題等	今後の 方向性	担当課
5-1 道路の整備	舗装修繕計画の実施率	3路線、2,199㎡（計画の3.0%）の修繕工事を実施	16%	20%	23%	21%	☆目標を達成	起債により実施しているが当該事業が令和8年度で終了する予定であり、その後の財源の検討が必要。	継続	建設課
5-2 公共交通の機能強化	市内を運行する路線バスの1日当たりの平均利用者数	<ul style="list-style-type: none"> ・利用しやすい環境づくりとして路線バスのダイヤ改正を1路線で行った。 ・チョイソコ南房総・館山のシステムを他の路線・地域でも検証を行った。 ・地域公共交通計画改訂に向けて公共交通に関する市民アンケート調査事業を行い、次年度の改訂業務に反映していく。 	750人	846人	756人	750人	☆目標を達成	人口減少・少子高齢化やマイカー依存等に伴い、全体的な実績としては減少傾向である。市営路線バス2路線については登山客・観光客利用があり、増加傾向であったが、各路線とも、地元住民（特に公共交通の利用がない又は少ない）の利用促進を図る必要がある。	継続	企画財政課

第6章 市民が創る南房総（移住促進・市民参加・行財政）

施策	指標	令和6年度 取組内容	当初値 (2021)	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	目標値 (2027)	進捗状況	課題等	今後の 方向性	担当課
6-1 協働のまちづくりの推進	NPO・自主的まちづくり活動団体の数（市内で活動しているNPOや自主的まちづくり活動団体の数）	まちづくりチャレンジ事業を実施し、12団体が採択され、各団体が市内で事業展開した。	76団体	82団体	87団体	84団体	☆目標を達成	まちづくりチャレンジ事業に参加した活動団体が補助事業の終了後に継続して活動しているように支援することが難しい。	継続	市民課
6-2 移住・交流の促進	空き家バンクを利用した市外からの転入者数（累計）	住環境整備として物件登録17件。改修工事が必要な空き家には空き家利用促進奨励金による改修工事3件	90人	152人 (累計)	214人 (累計)	135人	☆目標を達成	空き家の掘り起こしのための啓発。空き家対策セミナーと空き家相談会を継続する。	継続	建設課
	人口の社会増減（5年間平均）	移住・定住情報サイトの機能強化及び館山市との連携強化（定住自立圏構想）	△40,2人 (2017～ 2021)	△138人	△24人	△30,0人	○目標を概ね達成	居住物件（賃貸及び中古売買共に）の不足	継続	企画財政課
6-3 男女共同参画社会の形成	男女が平等になっていると感じる人の割合	第4次南房総市男女共同参画推進計画を策定し、計画の進捗状況について庁内調査を実施し、結果を市のホームページで公表した。	16.2%	18.80%	—	20.0%	—	アンケート調査が5年に1回のためR6実績値はなし。庁内調査を実施した結果、男女共同参画社会に対して担当課レベルでの意識がまだまだ高まっていないことが分かった。	継続	市民課
6-4 効率的・効果的な行財政運営の推進	公有財産の建築物延べ床面積	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年3月に公共施設等総合管理計画及び個別計画の改定を行った。 総合加工施設建設工事のほか、丸山分庁舎・公民館及び元気倶楽部などの長寿命化改修工事を行った。 また、南三原小・平群小跡地を活用した公園整備工事、忍戸小跡地への千倉複合施設建設工事を実施した。 	215,459㎡	206,169㎡	202,844㎡	200,300㎡	△目標に届かず	<ul style="list-style-type: none"> 資材費及び労務単価の高騰により、今後実施を予定している公共施設の再編整備に係る各種工事や廃止施設の跡地を活用した公園整備等に係る工事請負費の増加が懸念される。 再編後の新施設が完成後に、既存施設を解体するサイクルであるため、目標値である建築物延べ床面積が増加する年度がある。 	継続	企画財政課